これまでの合併特例債の使い道と今後の予定をお知らせします

笠間市では、笠間市総合計画に基づいた事業のうち、市の一体性を高めたり、均衡ある発展や住民福祉の向上を実現したりする事業の財源として、合併特例債を活用しています。

具体的には、旧市町を結ぶ道路の整備や地域の発展に必要な駅周辺の整備、小中学校などの耐震化や児童館の整備など市民の生活に身近な事業に活用しています。

現在、平成18年度から25年度までの8年間で約100億円を借り入れていますが、これまでの主な使い道や今後の予定についてお知らせします。

合併特例債とは

合併特例債とは、合併した市町村が、新市建設計画に基づいて行う、新しいまちづくり事業の財源として借り入れることができる地方債（借入金）のことをいいます。

合併特例債の活用は、合併初年度を含む10か年度に限られていましたが、法改正に伴い、期限延長をすることができるようになりました。

笠間市では、平成27年度が活用期限となっていますが、法改正を受けて期限延長の手続きを進めています。

なお、事業費のおよそ95％まで借り入れることができ、将来支払う元利償還金の70％が普通交付税によって措置されます。

北山公園散策路（新池）

これまでの主な使い道

平成24年度まで

笠間市では現在までに、この合併特例債を活用し、旧市町を結ぶ道路の整備や老朽化が進んでいた小中学校の耐震補強などの事業を実施しました。

道路整備事業

○笠間小原線（桂町工区）、大渕飯田線、友部池野辺線、友部1級3号線（小原）、友部1級12号線（平町～大古山）、友部2級10号線（住吉～湯崎）、岩間八郷線、上町大沢線、南友部平町線、来栖本戸線

都市整備事業

○岩間駅周辺整備、岩間駅東大通線

学校施設等整備事業

改　築

○岩間中学校、笠間学校給食センター

耐震補強

○友部中学校、笠間小学校、岩間三小体育館、笠間中学校、宍戸小学校

その他

○まちづくり振興基金積立、児童館整備、市民体育館大規模改修

平成18年度から24年度までの間に、これらの事業の財源として、合計90億3,700万円を借り入れました。

平成25年度

岩間駅東大通線延伸部や宍戸小学校屋内運動場の整備を実施しました。道路整備では、来栖本戸線等の整備を進めました。

道路整備事業

○来栖本戸線　6,030万円

○笠間小原線（桂町工区）　5,540万円

○上町大沢線　3,610万円

都市整備事業

○岩間駅東大通線延伸部　7,310万円

○笠間稲荷門前通り　5,020万円

学校施設等整備事業

○宍戸小学校屋内運動場　4,360万円

その他

○まちづくり振興基金積立　4億7,500万円

○北山公園散策路整備（新池）　1,690万円

平成25年度はこれらの事業などで合計10億5,750万円を活用しました。

今後の使い道

平成26年度

道路整備では、友部池野辺線等の整備を予定しています。また、都市整備では、岩間駅東大通線延伸部等を整備します。

道路整備事業

○友部池野辺線（池野辺工区）　8,310万円

○南友部平町線　6,740万円

○笠間小原線（桂町工区）　6,000万円

都市整備事業

○岩間駅東大通線延伸部　7,630万円

○笠間稲荷門前通り　4,860万円

○笠間地区市街地浸水対策　3,220万円

学校施設等整備事業

○岩間中学校部室棟　2,020万円

その他

○まちづくり振興基金積立　2億6,600万円

平成26年度はこれらの事業などで約12億円の合併特例債の活用を予定しています。

平成27年度以降

現在まで進めてきた幹線道路の整備や認定こども園、地域交流センターの整備などへの活用を予定しています。

道路整備事業

○来栖本戸線
2億3，650万円

○南友部平町線
2億60万円

都市整備事業

○岩間駅東大通線延伸部
6，830万円

○笠間地区市街地浸水対策
6，330万円

その他

○認定こども園整備
5億6，810万円

○地域交流センター整備
4億2，960万円

合併特例債は非常に有利な財源ではありますが、借入金であることに変わりはありませんので、真に必要なものを厳選し、有効に活用していきます。

笠間小原線

地域交流センター（イメージ図）

合併特例債活用事業

道路整備事業　（単位：百万円）

事業名	事業年度	事業費	借入(予定)額
友部1級12号線（平町～大古山）	H18～H21	919.7	424.3
岩間八郷線	H18～H21	521.3	273.8
大渕飯田線	H18～H22	587.9	289.9
友部池野辺線	H18～H22	550.7	268.9
上町大沢線	H18～H24	497.9	303.0
南友部平町線	H18～H27	1,250.0	786.7
来栖本戸線	H19～H27	1,202.6	559.2
その他の道路整備		4,647.4	2,226.2
小　計		10,177.5	5,132.0

都市整備事業　（単位：百万円）

事業名	事業年度	事業費	借入(予定)額
岩間駅周辺整備	H18～H24	2,366.2	1,641.2
岩間駅東大通線	H21～H27	824.7	341.5
友部駅周辺整備（地区道路）	H26～H30	310.3	176.9
その他の都市整備		747.8	376.3
小　計		4,249.0	2,535.9

学校等整備事業　（単位：百万円）

事業名	事業年度	事業費	借入(予定)額
友部中学校	H18～H19	805.5	589.0
岩間中学校	H20～H22	1,391.7	793.8
笠間小学校	H22	225.1	123.2
笠間中学校	H22～H23	154.1	97.5
笠間学校給食センター	H23～H25	930.4	822.8
その他の学校等整備		311.2	215.2
小　計		3,818.0	2,641.5

その他　（単位：百万円）

事業名	事業年度	事業費	借入(予定)額
児童館整備	H22～H23	143.5	114.1
まちづくり振興基金積立	H23～H26	1,780.0	1,691.0
地域交流センター整備	H26～H27	640.0	446.1
認定こども園整備	H26～H28	632.4	598.5
その他の事業		715.6	407.7
小　計		3,911.5	3,257.4

合　計		22,156.0	13,566.8

○合併特例債起債可能上限額　約322億円
合併特例債借入（予定）額　約135億円
（現在予定している借入の総額です。起債可能上限額の約42％となります。）

○まちづくり振興基金への積立上限額　約26億7千万円
まちづくり振興基金への積立予定額　約17億8千万円
（積立上限額の約67％）

※笠間市では、約322億円の合併特例債の活用が可能ですが、合併協議会において、これをすべて活用するのではなく、道路や学校の耐震化などの真に必要なものに活用するとしており、今後もこの方針を基本に財政状況等と照らし合わせながら活用する予定です。